

○議長（小林哲雄）

続いて、日程第6 議案第16号 平成26年度開成町後期高齢者医療事業特別会計予算を議題とします。

細部説明を担当課長に求めます。

保険健康課長。

○保険健康課長（田辺弘子）

では、本誌315ページをご覧ください。

議案第16号 平成26年度開成町後期高齢者医療事業特別会計予算。

平成26年度開成町の後期高齢者医療事業特別会計予算は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算。

第1条、歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ1億6,017万6,000円と定める。

第2項、歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、「第1表 歳入歳出予算」による。

平成26年3月4日提出、開成町長、府川裕一。

続いて、316ページをご覧ください。

第1表、歳入歳出予算。歳入、1款後期高齢者医療保険料から5款諸収入まで、歳出、1款総務費から4款予備費まででございまして、歳入歳出1億6,017万6,000円の予算になってございます。

それでは、予算書説明資料の72ページ、73ページをご覧いただきたいと思います。

説明に入る前に、概況を若干、お話をさせていただきたいと思います。開成町の後期高齢者の状況でございますけれども、平成21年度に県下で被保険者数の伸び率が第1位ということになった以後も、依然として伸び率は県下で高い状況が続いております。平成24年度の結果を見ますと、伸び率といたしましては県下で6番目というような状況になっておりまして、対前年度と比べて6.61%の伸びというような状況になっております。

人数でいいますと、24年の3月末ですけれども被保険者数は1,438人が、25年の3月末で見ますと1,533人ということで、6.61%の伸びになってございます。今回、26年度の予算につきましては、説明書に数字が書いてありますけれども、広域の試算によりますと26年度1,660人と想定をしまして予算を組んでございます。

また、1人当たりの医療費で見ますと、24年度82万9,389円という数字でございましたけれども、24年度中の1人当たりの医療費につきましては83万4,825円というような数字になっておりまして、医療費の給付も伸びている状況になっております。ただ、県平均に比べると、県平均が85万6,000円という数字でございしますので、若干、県平均より低い状況になってございます。また、26年度に

つきましては保険料を改定しております。後期高齢者の医療確保に関する法律によりまして、2年に1回、保険料を見直すということになっておりまして、26年度、27年度、同じ保険料率になってございますけれども、均等割額で4万2,580円、所得割率でいいますと8.30%で、3.6%の増というような想定になってございます。

では、72ページ、73ページをご覧くださいと思います。

後期高齢者医療保険料ということで、現年度分特別徴収保険料です。保険料、26年度に改定になっておりまして、被保険者数を1,660人と推計しております。特別徴収により納付する保険料でございまして、後期高齢者医療広域連合で示された保険料の特別徴収の分は65%と見込んでおります。前年度と比べて76万7,000円の増になっております。

その下、普通徴収保険料です。こちらもちょうど広域から示された数字でございまして、普通徴収につきましては35%分を見込んでございます。対前年と比べて41万3,000円の増でございます。

その下、過年度分普通徴収保険料でございまして、普通徴収によりまして滞納繰越分の保険料の項目設定になってございまして、実績にあわせて前年と比較して15万円ほど増やしてございます。

督促手数料は飛ばしまして、繰入金になります。一般会計繰入金ということで、保険基盤安定繰入金になります。低所得者に係る保険料減額分と、もと被用者保険の被扶養者だった者に係る保険料の軽減による減額分の総額で、一般会計からの繰り入れ分になってございます。こちら、前年と比べまして282万9,000円の増でございます。

その他一般会計繰入金でございます。保険料徴収等に係る事務費の一般会計からの繰り入れ分になってございます。こちらもちょうど、後期につきましても町村情報システムの共同事業の負担金、後期の分についてはこちらの特別会計で見いておりますので、その分を新規でシステム改修123万2,000円をプラスするような形で一般会計から繰り入れてございます。

その下、繰越金、前年度繰越金ということで前年度分の繰越金でございまして、前年度と比べて27万5,000円の減でございます。

以下、項目設定で省略をしまして、一番下、償還金及び還付加算金ということで、保険料還付金になります。保険料還付金、広域連合からの還付未済金の返還金でございまして、実績にあわせて若干増にしております。

その次のページ、歳出でございます。

総務費、一般管理費、保険料徴収等に係る事務費、レセプト点検員の賃金等でございます。また、26年度から、後期のシステムの負担金を特別会計で支出してございますので、前年度と比べて135万6,000円の増になってございます。

続いて、後期高齢者医療広域連合納付金になります。一般会計より繰り入れた保険基盤安定繰入金と保険料、延滞金を神奈川県の後期高齢者医療広域連合に納付するも

のでございますけれども、こちら前年と比べて４１５万９，０００円の増になってございます。

以下、項目設定等でございますので、省略をさせていただきます。

以上です。

○議長（小林哲雄）

以上で、議案第１６号 平成２６年度開成町後期高齢者医療事業特別会計予算についての説明を終了いたします。